



三本杉



令和3年7月16日
校長 桑原 豊行

思い出の夏休みに！

早いもので、1学期がもう終わります。コロナ禍でしたが、子どもたちは毎日元気に登校し、楽しく学校生活を送っていました。残念ながら学校行事はほとんどできませんでしたが、授業では、ひとつひとつにしっかりと取り組み成果が見られ、この期間の子どもたちの伸びを感じることができました。さて、21日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みです。コロナのためまだまだ生活上の制限はありますが、自由な時間はたっぷりあると思います。長い夏休みを充実させ、有意義に過ごせるように、次のことを心がけましょう。



1. 自分の目標をしっかりと持つ

夏休みがんばることをしっかりと決めましょう。読書、自由研究、工作、水泳など自分で決めた具体的な目標を持つことが大切です。また、夏休みにしかできない体験にもいろいろチャレンジできるといいですね。

2. 規則正しい生活をする

自分で学習や運動、家族の一員としての手伝いなど1日のスケジュールを立て、早寝早起きにこつこつめましょう。勉強は朝の涼しいうちにしましょう。

3. 健康や安全に気をつけて過ごす

コロナ対策、熱中症対策ともに大切です。暑いからといって、冷たいものばかりを飲んで、クーラーにあたっていると体調が悪くなります。積極的に運動に取り組みましょう。また、外出時は事故などに遭わないよう気をつけください。

シェイクアウトいしかわ参加



7月7日（水）には全校で県民一斉防災訓練の「シェイクアウトいしかわ」に参加しました。これは地震を想定し、いざという時に自らの身を守る訓練です。安全行動として①しゃがむ（揺れて転倒する前に姿勢を低くする）②隠れる（机の下に入り頭や首を守る）③じっとする（揺れが収まるまでじっとする）という3つの基本行動を中心に訓練しました。揺れが始まると子どもたちは、命を守るために何をすべきかを考え、さっと行動に移すことができました。

コロナ禍のため、全校児童が一斉に集まる避難訓練がなかなか実施しにくい状況ですが、今回は一人一人が真剣に取り組み、防災意識を高める契機となりました。ご家庭でも地震発生時時にはどこに隠れるか、そしてどこに避難するのかをお子さんと確かめておいてください。

ヘルメット着用のお願い

しばらく前ですが、学校周辺でヘルメットをつけずに自転車に乗っている子を見かけました。運転中なので顔は分かりませんでしたが、場所を考えると作見小の児童に間違いありませんでした。本校は校区が広い上に、学校周辺は交通量が多く、また細い道や坂もたくさんもあるため、いつ交通事故が起きてもおかしくない状況です。心配になり、先日児童のヘルメットの着用率を調査してみたところ、以下の通り学校全体で**約47%**という大変低い結果となりました。

全校児童数	自転車に乗っている人数	ヘルメット着用人数	着用率
354人	293人	137人	46.8%

児童の交通安全については、繰り返し学校で指導していますが、夏休みに入るのでご家庭でもご指導をお願いいたします。軽微なものが多いようですが、加賀市内では自転車の交通事故が多発しているそうです。いざというときに命を助けることにつながりますので、学校としてヘルメットの**着用率向上**を呼びかけていきたいと思います。ご理解・ご協力を願います。



～児童のヘルメット着用に関する法律～（道路交通法第63条の10）

児童・幼児のヘルメットの着用

児童・幼児を保護する責任のある者は、児童・幼児を自転車に乗車させるときはヘルメットをかぶらせるように努めなければいけません。

上記の通り小学生の場合は、保護者にヘルメットを着用させる努力義務が生じますので、ご協力を願います。

奉仕作業ありがとうございました

6月27日（日）にはPTAの環境整備部、役員そしてボランティアの方々にお集まりいただき、草むしりや草刈りを中心に行いました。おかげさまで運動場や校舎周辺の学習環境が整備されました。貴重なお休みの日にご協力いただきましてありがとうございました。



たんぽぽ学級では教室に七夕飾りをしました。

自由水泳の監視の皆様へ

感染対策（検温・マスク着用）を実施の上、監視のご協力を願いします。

